

心理福祉学研究科

【概要】

心理福祉学研究科は、福祉社会・共生社会の担い手として貢献しうる高度な専門性をもった人材の養成を目的としている。さまざまな領域でひとを支援する業務や役割のなかで探究すべき課題を見だし、その解決策を得ようとする人、現代社会のさまざまな問題のひとつもしくはいくつかに強い知的関心を持ち、理解しようとする人、人間の本質とその日々の営みを理解しようと考えている人に、高度な専門知識の修得と、自ら問いを立て回答を求める研究能力の獲得ができるよう指導する。また、公認心理師の国家試験受験資格の取得をめざす人に、法令に定められた講義科目と実習科目を提供する。

【心理福祉学研究科ポリシー】

ディプロマ・ポリシー

人間学的基礎の上に福祉社会の担い手として貢献しうる高度な専門性をもった人材の養成を目的として、それぞれの専攻分野の課題について自ら問いを立て、回答を求める研究能力のあることを示したものに修士（心理福祉学）の学位を授与する。

カリキュラム・ポリシー

1. 研究能力の涵養と人間学的基礎の確立のために「共通基礎」科目を置く。
2. それぞれの専攻分野において高度な専門知識を得させるために、「共生社会」「心理学」「対人援助」「児童学」の講義科目を置く。
3. 「演習科目」を置き、個々の学生の関心に応じて研究指導を行い、修士論文の完成に至らせる。
4. 公認心理師の資格取得をめざす人のための「実習科目」を置く。

アドミッション・ポリシー

本研究科において求める人。

1. 社会福祉ならびに精神保健福祉の分野において高度な専門性の修得と援助技術の向上をめざす人を求める。
2. 発達・子育て支援の分野において高度な専門性の修得と人間理解の深化をめざす人を求める。
3. 現代社会で生じている多様な心の問題を理解し、心のケアの担い手となることをめざす人を求める。
4. ひとを支援する業務に従事する中で探究すべき課題を見だし、自ら研究することを希望する人を求める。
5. 公認心理師の資格取得をめざす人を求める。

【授業案内】

心理福祉学研究科の授業は研究科目と演習科目、実習科目に分かれている。

演習科目は個々の学生に対する研究指導と論文作成指導を内容とし、同一教員が担当する研究演習Ⅰと研究演習Ⅱを履修しなければならない。

研究科目（講義科目）は、共通基礎科目、共生社会特論、心理学特論、対人援助特論、児童学特論に分かれ、必修の「研究法入門」以外はすべて選択科目である。それぞれの講義で取りあげる内容は副題として掲げられているので、各自の関心にしたがって履修する科目を選択されたい。

実習科目は、公認心理師の資格取得をめざす人のための科目であって、公認心理師コースの学生のみが履修できる。公認心理師コースの学生は、法令に定められた研究科目を合わせて履修しなければならない。

2020年度 大学院【福祉研】 カリキュラム

科目群	心理師	授業科目	担当者	単位		開講期			対象学年	備考	
				必修	選択	春学期	秋学期	その他			
研究科目	共通基礎	研究法入門	古谷野 亘	2		○		集中	1	必修	
		キリスト教人間学	五十嵐成見		2	○			1		
		調査研究法Ⅰ(量的研究)	古谷野 亘		4		◎		1		
		調査研究法Ⅱ(質的研究)	林 葉子		4		◎		1		
	共生社会特論	共生社会特論Ⅰ(福祉思想)	休講		2						1
		共生社会特論Ⅱ(児童福祉制度論)	田澤 薫		2		○				1
		共生社会特論Ⅲ(社会的養護の現状と課題)	中谷茂一		2	○					1
		共生社会特論Ⅳ(子ども虐待の背景と対応)	中谷茂一		2		○				1
		共生社会特論Ⅴ(高齢者の孤立と社会関係)	古谷野 亘		2	○					1
		共生社会特論Ⅵ(少子高齢社会と生涯学習)	小池茂子		2	○					1
		共生社会特論Ⅶ(高齢者福祉の歴史と介護保険制度)	古谷野 亘		2		○				1
		共生社会特論Ⅷ(地域包括ケア)	長谷部雅美		2	○					1
		共生社会特論Ⅸ(現代社会と精神保健福祉)	休講		2						1
		共生社会特論Ⅹ(就労支援)	猪瀬桂二		2	○					1
		共生社会特論Ⅺ(生活困窮者支援)	元田宏樹		2		○				1
	心理学特論	心理学特論Ⅰ(対人認知と対人魅力)	西村洋一		2	○					1
		心理学特論Ⅱ(老後の幸福感)	休講		2						1
		心理学特論Ⅲ(学習と動機づけの心理)	鎌原雅彦		2	○					1
		心理学特論Ⅳ(臨床発達心理学)	金谷京子		2		○				1
		心理学特論Ⅴ(精神分析)	休講		2						1
		心理学特論Ⅵ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	藤掛 明		2		○				1
		心理学特論Ⅶ(ストレスマネジメント)	休講		2						1
		心理学特論Ⅷ(健康と医療の心理学)	休講		2						1
		心理学特論Ⅸ(福祉分野に関する理論と支援の展開)	堀 恭子		2	○					1
		心理学特論Ⅹ(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	森岡由起子		2	○					1
		心理学特論Ⅺ(教育分野に関する理論と支援の展開)	堀 恭子		2		○				1
	心理学特論Ⅻ(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	藤掛 明		2	○				1		
	心理学特論Ⅼ(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	長谷川恵美子		2	○				1		
	対人援助特論	対人援助特論Ⅰ(ストレングスモデルのソーシャルワーク)	休講		2						1
		対人援助特論Ⅱ(ナラティブ・ソーシャルワーク)	相川 章子		2		○				1
		対人援助特論Ⅲ(ソーシャルワーク・スーパービジョン)	田村 綾子		2	○					1
		対人援助特論Ⅳ(ピアサポート)	相川 章子		2	○					1
		対人援助特論Ⅴ(スクールカウンセリング)	休講		2						1
		対人援助特論Ⅵ(ファミリーセラピー)	休講		2						1
		対人援助特論Ⅶ(アートセラピー)	休講		2						1
		対人援助特論Ⅷ(スピリチュアルケア)	安部能成		2		○				1
対人援助特論Ⅸ(キリスト教とカウンセリング)		藤掛 明		2		○			1		
対人援助特論Ⅹ(心理支援に関する理論と実践)		大橋良枝		2		○			1		
対人援助特論Ⅺ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		村上・大橋		2	○				1		
対人援助特論Ⅻ(心の健康教育に関する理論と実践)	長谷川恵美子		2		○			1			
対人援助特論Ⅼ(支援者支援)	森岡由起子		2	○				1			
児童学特論	児童学特論Ⅰ(児童理解)	田澤 薫		2		○			1		
	児童学特論Ⅱ(遊びの文化)	寺崎恵子		2	○				1		
	児童学特論Ⅲ(絵本の文化)	寺崎恵子		2	○				1		
	児童学特論Ⅳ(児童文学)	松本祐子		2	○				1		
	児童学特論Ⅴ(音楽教育)	久保田翠		2		○			1		
	児童学特論Ⅵ(異文化間教育)	佐藤千瀬		2	○				1		
演習科目	社会福祉学研究演習Ⅰ	休講		2					1		
	児童福祉研究演習Ⅰ	中谷茂一		2		○			1		
	高齢者福祉研究演習Ⅰ	古谷野 亘		2		○			1		
	障害者福祉研究演習Ⅰ	休講		2					1		
	精神保健福祉研究演習Ⅰ	相川 章子		2		○			1		
	実践心理学研究演習Ⅰ	堀 恭子		2		○			1		
	社会心理学研究演習Ⅰ	西村洋一		2		○			1		
	ソーシャルワーク研究演習Ⅰ	田村 綾子		2		○			1		
	キリスト教カウンセリング研究演習Ⅰ	藤掛 明		2		○			1		
	児童学研究演習Ⅰ	田澤 薫		2		○			1		
	児童教育学研究演習Ⅰ	佐藤千瀬		2		○			1		
	児童文学研究演習Ⅰ	松本祐子		2		○			1		
	精神分析学研究演習Ⅰ	大橋良枝		2		○			1		
	乳幼児・母子心理学研究演習Ⅰ	森岡由起子		2		○			1		

(演習科目関連の講義科目履修)

1・2年次選択
1 演習選択必修
(演習Ⅰ・Ⅱは同一科目履修)

心理福祉学研究所

演 習 科 目	演習 (研究指導)	社会福祉学研究演習Ⅱ	休講		4			2	(演習Ⅰ・Ⅱは同一科目履修) Ⅰ 演習選択必修	
		児童福祉研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		高齢者福祉研究演習Ⅱ	古谷野 亘		4	◎		2		
		障害者福祉研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		精神保健福祉研究演習Ⅱ	相川 章子		4	◎		2		
		実践心理学研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		社会心理学研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		ソーシャルワーク研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		キリスト教カウンセリング研究演習Ⅱ	藤掛 明		4	◎		2		
		児童学研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		児童教育学研究演習Ⅱ	休講		4			2		
		児童文学研究演習Ⅱ	松本 祐子		4	◎		2		
精神分析学研究演習Ⅱ	休講		4			2				
乳幼児・母子心理学研究演習Ⅱ	休講		4			2				
実 習 科 目	実 習	10	心理実践実習A	村上・森岡		4	○		1	要件外
			心理実践実習B	未開講		4			2	
			心理実践実習C	未開講		2		外部	2	
修了要件		30単位以上、かつ修士論文またはそれに代わる研究成果を提出し審査に合格すること。 長期履修制度利用者は、入学年次に演習科目Ⅰ、修了予定年次に演習科目Ⅱを履修すること。								

○印：週1回授業 ◎印：週2回授業

*心理師の列は、「大学院における必要な科目」(別表2)の通し番号。

*心理科目担当者は休講となった科目と類似する科目は休講科目担当者を入れ、その他は「大学院における必要な科目」の「含まれる事項」を参考に担当教員を入れた。